

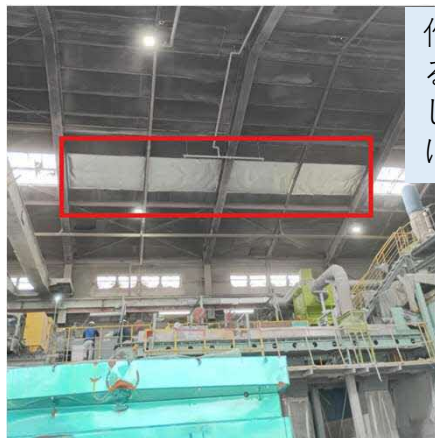


熱中症対策

背景(課題・ニーズ)

真夏のピーク時には工場内の作業環境気温が40℃を超えることもあり、熱中症のリスクが非常に高い状況である。そのため、熱中症対策は極めて重要な課題として認識している。作業環境の温度改善に加え、従業員一人ひとりが実践できる熱中症予防行動の促進にも力を入れて、熱中症対策に取り組んでいる。

取組内容



作業員に直射日光が当たる窓に遮熱シートを設置し、日光の侵入を効果的に遮断した。

冷風機、スポットクーラー、送風機を作業者の近くに設置し、ピンポイントで冷却することで、作業環境の快適性を向上させた。



- 塩分やクエン酸を補給するタブレットを共有スペースに常備し、自由に手に取ることができる。
- 冷蔵庫では個人の飲み物を自由に冷やすことができる。
- 冷凍庫の氷嚢も必要に応じて自由に使用できる。

やってみての効果

- 遮熱シートの導入により作業環境温度が約4℃低下した。
- 作業スペースは高所に位置しており、熱がこもりやすく環境温度が上昇しやすい状況だった。遮熱シートと冷風機などを併用することで効果的な温度対策が実現できた。

今後の目標・展望

- 遮熱シートが熱中症対策として高い効果を発揮することが確認できたため、今後は別棟への導入も検討していく。
- 屋根全体を遮熱シートで覆う方法についても検討を進めており、継続的に作業環境の改善に取り組んでいく。